

# 大学の近況

## 平成二十年度 新司法試験 本学から十四名が合格

九月十日(木)、法務省より第4回「新司法試験」の結果が公表されました。  
本学法務研究科(法科大学院)より六十八名が同試験を受験し、その結果、短答式試験の合格に必要な成績を得たのは四十六名、論述式試験を経て最終的に合格したのは十四名(内訳/既修九名、未修五名)でした。合格した方には心からお祝い申し上げます。  
法務省の発表によると、全国での総受験者数は七千三百九十二名、最終合格者は二千四十三名で、今回の新司法試験全体の合格率は二十七・六%でした。

## 二〇〇九年度 学位授与式

二〇〇九年度学位授与式(九月卒業)が九月二十六日(土)本館大講堂で行われました。十八名が出席し、和やかに式が進められました。修了者・卒業生数は左記のとおりです。



修了者数	法務研究科	5名
卒業生数	経済学部	5名
	文学部	6名
	法学部	10名

## 成蹊会振興助成金(スポーツ・文化) 贈呈式が行われました

大学の体育会と文化会に所属する在学生の活躍を期待し、成蹊会(卒業生団体)から毎年「スポーツ振興助成金」と「文化振興助成金」を贈呈しています。  
本年度は六月二十九日(月)学園史料館二階研修室で行われ、九団体(後述)に対し「スポーツ振興助成金」が成蹊会スポーツ振興委員会の西川廣委員長(政経十八回卒)より手渡されました。西川委員長からは、母校のクラブ活動に対する卒業生の熱い期待が伝えられるとともに、四大学運動競技大会の活躍を祈念した激励がありました。本年も四大学運動競技大会「一般種目」の飛躍に期待し、体育会本部にも助成しております。  
また、「文化振興助成金」も三団体(後述)に贈呈されています。

成蹊会では、卒業生からの会費収入を原資として母校支援のための各種活動(育英奨学、学術・教育助成、スポーツ振興、国際交流、文化振興の各事業)を行っており、この助成もその一環として行われたものです。

- ◆スポーツ振興助成金(総額七十五万円)  
漕艇部/馬術部/ヨット部/硬式野球部/軟式野球部/蹴球部/合気道部/ライフセイビング部/体育会本部
- ◆体育会イベント助成(総額十五万円)  
学内陸上/レガッタ
- ◆文化振興助成金(総額三十五万円)  
文化会本部/櫻祭本部/新聞会



## 合格者の声



成蹊大学法科大学院  
2006年度入学  
法学既修者

### 秋山 太一さん

## 少人数制の指導で 確かな実務感覚を身につけられました。

私が本学の法科大学院を選んだ理由は、①実家から近くであること、②24時間利用できること③少人数制であることの3点です。  
①の実家から近かったというのはラッキーにすぎないのですが、そのため②本学を充分に活用し、勉強することができました。  
しかし、なんといっても大きなメリットは③です。共に勉強した仲間はいい意味でライバルであり、共に戦う戦友でもあります。ときには羽目をはずすこともありましたが、ゼミで朝まで法律の議論をしたこともしばしばです。新司法試験は二度目の挑戦でしたが、先に合格した友人は合格の報告を我が身のように喜んでくれました。  
また少人数であることから、先生方、事務の方も学生に親身に接していただけました。廊下でお会いした時にかけていただいた一言で、勇気づけられたことが何度もありました。  
授業でも少人数の特質を生かし活発な議論がなされました。特に力になったのは、先生方に受け持っていただいた演習などのゼミです。研究者の先生のゼミでは法律の学問としての知的探求心が刺激され、また実務家の先生のゼミでは実務感覚を身につけることができました。そういった意味で本学の学問と実務の架橋教育は成功しているのだと思います。  
皆さまの支えなくして私の司法試験合格はありえませんでした。本当にありがとうございました。

## オープンキャンパスが行われました



オープンキャンパスが八月一日(土)・二日(日)、九月十三日(土)・十四日(日)の四日間に渡り開催され、学部別の体験講義やガイダンス、入試相談会や在学生によるキャンパス見学のイベントが多かったです。初日には過去最高の来場者数を記録するなど、大盛況でした。

## 二〇〇九年度 ケンブリッジ大学 ペンブルック劇団公演が開催されました



九月十九日(土)、ケンブリッジ大学ペンブルック劇団による「THE TEMPEST」公演が四号館ホールで行われました。ペンブルック劇団はケンブリッジの学生も活発に活動している団体で、本学では今年で三回目の公演になります。公演当日は多くの聴衆が訪れ、迫真の演技に会場から盛大な拍手が送られました。

## 学内競漕大会「成蹊レガッタ」



6月25日(木)、戸田オリンピックポートコースを会場に、今年も熱戦が繰り広げられました。



## 卒業生の皆さまへ 大学入試願書無料配付のお知らせ

書店等で販売中の2010(平成22)年度成蹊大学一般入学試験要項(願書)を、卒業生に無料でお送りいたします。下記の方法でお申込ください。

- 1 願書請求方法: 電話、FAX、メールまたは郵便にて  
①氏名 ②住所\* ③電話番号  
④最終卒業校(大学は学部) ⑤卒業年  
⑥必要部数 を成蹊会までご連絡ください。  
※ 郵送先は成蹊会登録の住所となります。

電話: 0422-51-2244 FAX: 0422-54-6766  
e-mail seikeikai@jim.seikei.ac.jp  
<申込先> 社団法人成蹊会 大学入試願書無料送付係 宛

- 2 受付期限: 平成22年1月18日(月)  
3 お問い合わせ先: 成蹊大学入試センター 電話: 0422-37-3533

## 2009年度 後期公開講座のご案内

成蹊大学では、年2回公開講座を開催しています。1回のみ受講もできます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお出かけください。

### 2009年度後期公開講座 「教養の扉: 桃李成蹊の真髄を学ぶ」

第1回 11月7日(土)	科学的な考え方 ~最先端研究から日常のヒントまで~ 坪村 太郎(理工学部教授)
第2回 11月14日(土)	スポーツにおける効果的な視線の使い方 ~一流選手はどこを見ているのか~ 境 広志(法学部教授)
第3回 12月5日(土)	「ウェストサイド物語」における民族・人種の表象 ~なぜブエルトリコの女たちは「アメリカにいたい」のか~ 日比野 啓(文学部准教授)
第4回 12月12日(土)	スポーツと人・地域・学校 ~スポーツを通して学べるもの~ 鈴木 滋(経済学部教授)

会場 8号館101室 (各日共通)  
時間 13時30分~15時30分 (各日共通)  
受講方法: 申込不要。  
当日直接会場へお越しください。(無料)  
お問い合わせ先: 企画運営課  
電話: 0422-37-3535 FAX: 0422-37-3883  
e-mail kouza@jim.seikei.ac.jp  
URL http://www.seikei.ac.jp/university/